

## 周囲の住環境向上を誘導

# 宇治「小倉・花水木通り」



大島室長(写真)は「当一戸建て住宅を提案するに社長の街づくりコンセプトは、購入者が抱える住宅の個性を活かした最良のプランを提案すること、解決し、未永く快適な生活から始まる。地元企業として京都市を中心に当社の設計技術力を活かした都市型」

宇治市で十二月から販売し、安全性を高めた「オー」を開始する「小倉・花水木」にはシンボル通りについて同室長は「魅力ある街づくりとして、自然のタウ」を提案したのは「イン」の統一感を持たせるため、「美しい道」②街中の道路、植栽を設け、シックな色調を採用していること、歩いていても安全な「生活の庭」を設置③自らの発足など身近な近所治会の発足など身近な近所ぶきあいを目指した「住民意見交換会」を実施④美しい街並みを維持するた「街づくり憲章」を提案⑤各住戸の境界線を無く



シリーズ～良質居住へ  
「まちなか住宅」誕生③

# 「人・家・緑が融和する街」

街の個性引き出すゼロ・コーポレーション

## 顧客満足 実現へ 6つの工夫・提案

面積が一区画百坪前後かそれ以下の狭小敷地を中心とした都市部の住宅開発「まちなか住宅」を対象に、一定以上の居住水準を備えた住宅づくりと、それによる良好な街づくりを誘導するため、住宅金融公庫大阪支店と学識経験者、行政、不動産業界団体代表者らの産官学で発足した「まちなか住宅・関西プロジェクト委員会」(委員長、異和天京都大学名誉教授)は九月十日に、同事業による「計画的なレイアウト等により居住環境を確保した小規模住宅地団地」として宇治市、堺市、東大阪市内の三団地を認定した。そのうちの二つ「小倉・花水木通り」(街並みイメージ)の事業主体であるゼロ・コーポレーション(京都市、金城一守社長)設計室の大島剛室長に話を聞いた。

●小倉・花水木通り  
▽所在地 宇治市小倉町西山▽総区画数 五十四区画▽販売価格 二千八百六十万円～三千三百八十万円▽敷地面積 百・〇〇～百二十八・一九㎡▽建物延べ面積 百一・八六一百四十二・四三㎡

特徴について話した。一方では、「産官学で発足した「まちなか住宅・関西プロジェクト委員会」に

今回団地が優良住宅としてプロジエクト団地に認定されたことで、当分譲地が魅力的な事業として評価されたこと大変光栄に思いますが、当分譲地では「全邸公庫融資付住宅」として今まで以上に消費者により安心して安全な暮らしをアピールできると確信している。さらに、この結果を踏まえ、当分譲地における購入者の反応を詳しく分析し、今後の分譲開発にも繋げていきたい」と今後の期待を述べた。